

第31回企画展

「ちりめん
創作人形展」

▶4/6(日)

第32回企画展

「京都一芸舞妓の
衣装展」



イメージ画像

4/11(土)▶5/25(日)

四季折々の時候にあわせた芸妓・舞妓の衣装を京都五花街の年中行事とともに紹介し、併せてかんざしなど伝統工芸品や舞台衣装、映像などで日本伝統の着物文化を紹介します。

第70回特別展

「いせさき銘仙の美力
THE MEISEN REVOLUTION」

5/30(土)▶7/13(日)

伊勢崎銘仙は大正から昭和中期にかけて全国的に大流行した伝統的な絹織物です。伊勢崎銘仙の豊富な色と柄を活かした、ピンワークなどのモダンなコーディネートを表示し、その美力を紹介します。



「いせさき銘仙ピンワークドレス」
制作：高木 照子(いせさき銘仙の会)
(写真：伊勢崎市観光物産協会提供)

夏休み子ども特別展
(第71回特別展)

「カイコのふしぎ」

7/18(土)▶9/3(水)

カイコの卵、幼虫、吐糸、蛹、成虫、休眠性、遺伝、餌となる桑、飼育法などを取り上げ、カイコについて総合的に紹介します。また、生きたカイコに触れられる展示コーナーがあります。



生きたカイコの展示コーナーの様子(昨年)



5齢のカイコ

第33回企画展

「花まゆ展
～繭から
生まれた花～」



花まゆ主宰 酒井登巳子「繭椿」

9/12(土)▶10/19(日)

繭は生糸や真綿に使用されてきましたが、何千年と続いたその使用方法に新たな道を切り開き、芸術性を加味したのが「花まゆ」です。繭が持つ天然素材の素晴らしさを充分にいかして、ひとつひとつ大切に丹精こめて染色、制作された美しい花まゆの芸術作品を紹介します。

第34回企画展

「皇居のご養蚕と
養蚕業の歴史・未来」



紅葉山御養蚕所 (写真：宮内庁提供)

10/24(土)▶12/14(日)

皇居のご養蚕のご様子や養蚕業の歴史を紹介するとともに最新の研究である光る繭やクモ糸の遺伝子を持つ蚕の糸等について展示し、未来に向けた新たな養蚕業の可能性について紹介します。

第35回企画展

「ちりめん創作人形展
～親から子へ…
冬の楽しみ～」



竹本 京「マドンナ」
(平成26年度展示作品)

12/19(土)▶2/14(日)

ちりめんの古製などを使い、昔の日常生活をモチーフに人形を制作している作家・竹本京(高崎市)の作品を中心に展示します。「絹づくし」の人形やお細工物をお楽しみください。

第72回特別展

「まゆクラフトと
絹の作品展」

2/27(土)▶4/11(日)

繭の特性をいかしたまゆクラフト作品(一般公募)と伝統技法等を駆使した工芸作家の創作品及び友の会会員のバラエティーに富んだ染織作品を一挙公開します。繭、絹の持つ素晴らしさを感じてください。



平成26年度の様子

イベント



夏休み子どもシルク教室
7月下旬▶8月中旬

小中学生を対象に、染色、手織り、繭クラフトの体験教室を開催します。



日本絹の里大学
7月下旬▶10月

蚕や絹に関するホットな話題を専門家がわかりやすくお話しして楽しく学べるユニークな講座を開催します。



「群馬の絹」展
2/18(土)▶2/23(日)

群馬の絹を使用した和装品や洋装品、工芸品などの各種絹製品の展示と販売を行います。

体験学習



体験学習(草木染、型染、絞り染、ろうけつ染、手織り、繭クラフト、和布細工)

各種体験学習を開催しています。詳しい日程はホームページまたは電話等でお気軽にお問い合わせください。



日本絹の里
NIPPON SILK CENTER

TEL 027-360-6300

〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

http://www.nippon-kinunosato.or.jp

※各スケジュールは都合により一部変更になる場合がございます。
※写真はイメージです。実際の内容と異なる場合がございます。

開館時間 9:30~17:00

観覧料 <特別展> 一般200円(160円) 大学・高校生100円(80円) 中学生以下無料
<企画展> 一般400円(320円) 大学・高校生250円(200円)

※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名無料

休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始の休館：12/27▶1/5(臨時開館1/3)

特別清掃・燻蒸消毒・展示入替・倉庫整理の休館：9/4▶9/11